

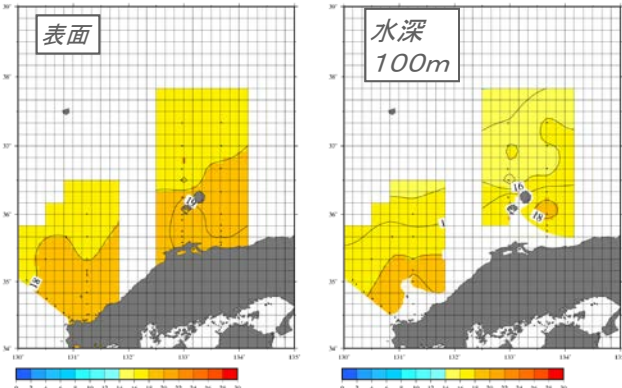
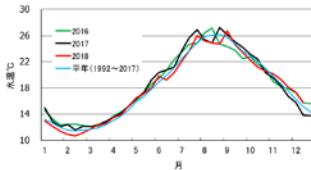


鳥取沿岸の水温

鳥取県栽培漁業センター 沈砂槽
(電話:0858-34-3321)

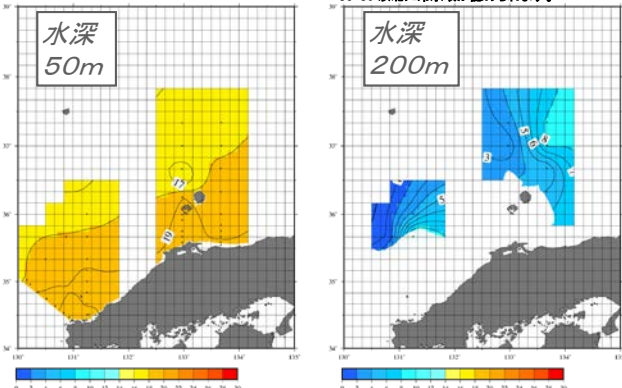
12月中旬 15.7℃

平年より 約0.6℃高め



鳥取県沖と隠岐諸島周辺海域は18～20℃で、平年よりやや高めの値となっています。

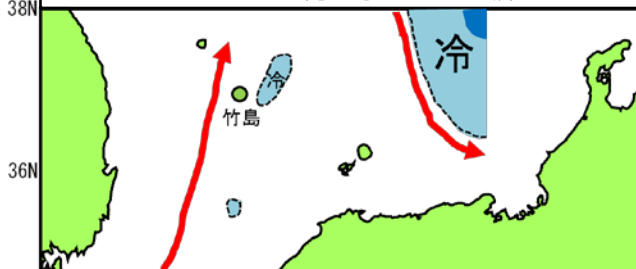
鳥取県沖と隠岐諸島周辺海域は18～20℃を示し、竹島東方に冷水塊(14～16℃)が認められ、兵庫県沖北緯36°30'以北に冷水塊が認められます。



鳥取県沖と隠岐諸島周辺海域は18～20℃を示し、平年並みの値となっています。

隠岐諸島北東、北緯37°付近に5～8℃を示す暖水域が認められます。

12月上旬の水塊配置と対馬暖流



- ・鳥根沖冷水: 北緯38°以北に認められ、分岐した一部が、竹島東方に冷水域を形成。
- ・山陰若狭冷水: 兵庫県沖北緯36°30'以北に認められます。
- ・沖合の対馬暖流: 主流は朝鮮半島を北上し、北緯北緯36°30'付近を流れている可能性があります。その後、山陰・若狭冷水に沿って南下し、東方へ流れていると考えられます。

*県内の漁獲情報については水産試験場ホームページ(鳥取県水産試験場で検索してください)に詳しく掲載しています、是非ご利用ください。

★境港水産事務所からのお知らせ★

シンボルマーク・キャッチフレーズ募集!



- ・平成31年に境港高度衛生管理型市場の一部を供用開始するにあたり、PR活動に活用するためのシンボルマークとキャッチフレーズを募集しています。
- ・応募期限は1月11日(金)までとなっています。応募方法等の詳細は境港水産事務所のホームページをご覧ください。

シンボルマークの部

内「社会に信頼され、活力があり、親しまれる漁容港・市場」のメッセージをアピールできるシンボルマークを募集

- 活・新市場外壁に看板として掲示
方・小売店で販売される水産物のパッケージにシンボルマークを使ったシールを貼り
法・高度衛生管理された水産物であることを消費者にPR

キャッチフレーズの部

高度衛生管理型市場に生まれ変わることを表現するキャッチフレーズを募集

・パンフレット、ポスター、のぼり等で新しい市場のPRに活用

◇新市場キャッチフレーズの例
安全安心さかみなど市場!

- 賞・金
品
- ◇最優秀賞(両部門各1点): 賞金5万円と副賞(境港の水産物を季節ごとにお届け)
 - ◇優秀賞: 境港の水産物の中からお好みの品1品(1万円相当)
 - ◇春: 境港サーモン 夏: 境港天然本マグロ 秋: 紅ズワイガニ 冬: 鳥取松葉がに



ホームページ <https://www.pref.tottori.lg.jp/sakaioffice> 電話:0859-42-3167

水産試験場

平成30年度第1回境港地区漁海況連絡会議

境港地区の水産関係者を対象に水温や潮流などの海洋環境、アジ・サバ・イワシなどの浮魚、スワイガニ等を含む底魚類の漁獲状況や今後の漁獲に関する連絡会議を平成30年12月14日(金)に境港商工会議所の大会ホールにて行いました。

試験場研究員から以下のとおり各魚種について今後の漁の見通しを報告しました。

海況		今後3ヶ月の鳥取県沿岸の水温は平年並みに推移し、鳥根沖冷水は、前年と比べ離岸傾向を示す。
浮魚	スルメイカ	平年を下回り、前年並みか、下回る(資源の減少が影響)
	マアジ	平年を下回る(2018年級の資源量が少ないと考えられるため)
	マサバ	平年並み(資源が少ないながらも上向いているが、漁場形成が遅れている)
	マイワシ	平年並み(近年の加入状況は良好)
底魚	松葉がに(今漁期)	前年を上回る
	親がに(今漁期)	前年並み
	若松葉(今漁期)	前年を下回る(資源管理強化のため)
	ハタハタ・マダラ	前年を下回る(資源量の減少)
	アカガレイ	前年を下回る(3.4月の漁獲が不調)
ソウハチ(エテガレイ)	前年を下回る(9.10月の山口県以西の漁獲が前年から減少)	
ホッコクアカエビ(あかえび)	前年並	

今回は、国立研究開発法人 水産研究・教育機構 国際水産資源研究所所属の平岡 優子氏を講師にお招きし、2018年に実施された太平洋クロマグロの資源評価結果と最新の研究成果について御講演をいただきました。

講演ではクロマグロの生態および最新の資源状況、そして、境港で実施している市場調査が資源評価等の研究にどのように生かされているのかお話しいただきました。国際的に注目されているクロマグロの貴重な情報ということもあり、多くの来場者が熱心に耳を傾けていました。



会議には、多くの方にご来場頂きました



日本国際水産資源研究所 平岡 優子氏の講演

平成30年4月から下記2社の広告を1年間掲載することになりました。

潮に夢を

共和水産株式会社

代表取締役 岩田 祐二

〒684-0006 鳥取県境港市栄町65番地
TEL:0859-44-7171(代) FAX:0859-42-6530

いつの時代も、技術とサービスをもって水産業・漁業の皆様を支援してまいります

西日本ニチモウ株式会社

本社 山口県下関市小月小島2丁目3-17 〒750-1136
電話 083-282-4041(代表) FAX 083-282-0424

境港営業所 鳥取県境港市栄町67番地 〒684-0006 電話 0859-44-0475 FAX 0859-42-6330

栽培漁業センター

駆除活動の効果あり! 美保湾のヒトデ類は減少へ

今年の6月ごろからスナヒトデの小型個体が多く見られ、注意していたところですが、9月から小型底びき網に多く入網するようになり、操業に支障をきたすようになりました。また、スナヒトデは貝類などを食べることで、パイへの影響も懸念されています。

そこで、県漁協境港支所の漁業者らにより、9月下旬から10月下旬にかけて計3回、約10tのヒトデ類が駆除されました。

その後の調査では、スナヒトデの減少を確認し、漁業者からも減ったと声が聞かれるようになりました。また、今年生まれたと考えられる大きさの稚パイが多く獲れた場所もあり、期待が持てました。ヒトデに関する情報がありましたら、下記までお知らせください。

電話0858-34-3321【担当】野々村



2時間で獲れたヒトデ類の様子



多く獲れた稚パイ